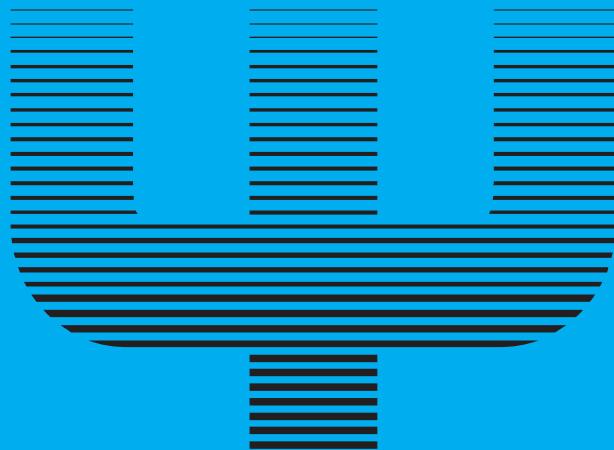


調査研究報告書 No.139

2007



訓練効果の評価に係る調査研究
— 公共職業訓練コースへの評価の導入に向けて —

独立行政法人 雇用・能力開発機構
職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター

訓練効果の評価に係る調査研究

— 公共職業訓練コースへの評価の導入に向けて —

**独立行政法人 雇用・能力開発機構
職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター**

はじめに

平成 12 年度から雇用・能力開発機構では離職者訓練、在職者訓練、学卒者訓練の訓練効果に関する実態調査を行い、多様化する職業訓練のニーズに的確かつ迅速に応え、適正な顧客満足度の維持・向上を目指した職業訓練を実施していくことを目的として、職業訓練コースの設定、運営に係る訓練管理の手法について検討を重ねてきた。

特に、平成 15 年度及び平成 16 年度に、民間で活用されているプロセス管理手法を、職業訓練コースの設定、運営に関する訓練現場の管理手法として導入するために研究と試行・検証を行った。

プロセス管理手法は、訓練ニーズの把握から、訓練カリキュラムの設定、訓練の実施、訓練コースの評価など、訓練コースの設定から実施、評価に至るプロセスの各段階に応じて、その信頼性と品質を一層確保できるよう適正な運営・管理を行おうとするものである。

このように訓練コースの設定から運営のプロセスの段階ごとに適正な管理を行うことにより、投資効果の高い訓練コースを実施し、国民に対する公共職業訓練の役割や効果・成果を明確に説明することが可能となる。

そこで、プロセス管理に基づいた公共職業訓練の訓練効果の評価について、より適切な評価となるよう調査・研究した。また、バランススコアカードの手法を用いて公共職業訓練によせられる多種多様の視点からの指摘に対して最大限に答えられるよう評価指標の整理を行った。今後の公共職業訓練コースのより適切な訓練効果の捉え方、訓練コースを評価する評価指標の設定及び評価手法の確立に寄与できれば幸いである。

2007 年 3 月

職業能力開発総合大学校
能力開発研究センター

所 長 緒 方 悟

平成18年度訓練効果の評価研究会 委員名簿

順不同

浅野 良一 学校法人産業能率大学 経営管理研究所 主任研究員

江淵 弓浩 みずほ情報総研株式会社 社会経済コンサルティング部 シニアコンサルタント
職業能力開発総合大学校 長期課程 非常勤講師（人的資源管理論）

本島 克己 日産人材開発センター株式会社 日産テクニカルカレッジ 校長

石川 洋 株式会社 スマートビジョン 代表取締役

藤村 伸治 雇用・能力開発機構 北海道センター 次長

事務局 能力開発研究センター 高度訓練研究室

執筆担当

| 章・節 | 執筆担当 | 章・節 | 執筆担当 |
|-----------|------|----------|------|
| 第1章 | 事務局 | 第3章 | 事務局 |
| 第2章第1節 | 事務局 | 第4章1節1－1 | 江淵委員 |
| 第2章第2節2－1 | 事務局 | 第4章1節1－2 | 石川委員 |
| 第2章第2節2－2 | 浅野委員 | 第4章1節1－3 | 本島委員 |
| 第2章第2節2－3 | 元木委員 | 第4章1節1－4 | 藤村委員 |
| 第2章第2節2－4 | 本島委員 | 第4章1節1－5 | 浅野委員 |
| 第2章第2節2－5 | 事務局 | 第4章2節 | 事務局 |
| 第2章第2節2－6 | 事務局 | | |

平成17年度訓練効果の評価研究会 委員名簿

順不同

浅野 良一 学校法人産業能率大学 経営管理研究所 主任研究員

江淵 弓浩 みずほ情報総研株式会社 経済・産業室 シニアコンサルタント

元木幹雄 株式会社富士ゼロックス総合教育研究所
ヒューマンキャピタル・コンサルティング部コンサルタント

本島 克己 日産人材開発センター株式会社 日産テクニカルカレッジ 校長

事務局 能力開発研究センター 高度訓練研究室

目 次

| | |
|---|----|
| 第1章 調査研究の概要 | 1 |
| 第1節 研究の背景 | 3 |
| 第2節 研究の目的 | 4 |
| 第2章 職業訓練コースの評価の視点とその取組事例 | 7 |
| 第1節 公共職業訓練コースを評価する視点 | 9 |
| 1－1 公共職業訓練コースの特性 | 9 |
| 1－2 従来の視点 | 10 |
| 1－3 国の行政改革の視点 | 11 |
| 1－4 公共職業訓練に向けられた多方面の視点にたった意見 | 12 |
| 1－5 視点の因果連鎖と相関関係、及びそのバランス | 16 |
| 第2節 具体的な評価の視点と取組事例について | 17 |
| 2－1 学校の教育評価の視点 | 17 |
| 2－2 学校評価の考え方と進め方 | 19 |
| 2－3 民間企業の研修と効果測定の取り組み | 30 |
| 2－4 企業訓練コースの具体的な評価事例 | 41 |
| 2－5 公共職業訓練の視点 | 47 |
| 2－6 公共職業訓練コースの評価システム取組事例 | 48 |
| 2－7 P P M手法によるコース評価事例 | 52 |
| 第3章 職業訓練コースの評価のしかた | 57 |
| 第1節 評価の仕組みの狙い | 59 |
| 1－1 公共職業訓練コースの訓練効果の評価に係る戦略マップの考え方 | 61 |
| 1－2 戦略マップにおける訓練効果指標の整理のしかた | 64 |
| 第2節 公共職業訓練の訓練コース評価指標 | 65 |
| 2－1 顧客の視点に立った評価指標について | 65 |
| 2－2 コンプライアンス及び財務の視点に立った評価指標について | 68 |
| 2－3 業務プロセスの視点に立った評価指標について | 70 |
| 2－4 学習と成長の視点に立った評価指標について | 74 |
| 第3節 評価シート・診断表 | 77 |
| 3－1 評価シート案 | 77 |
| 3－2 業務プロセス診断表 | 80 |

| | |
|---|-----|
| 第4章 考察及び提言 | 83 |
| 第1節 訓練コース評価指標の留意点、考察及び提言 | 85 |
| 1－1 訓練コースの品質向上・改善に向けた方向性に関する一考察～「成果の評価」と「取り組みプロセスの評価」 | 85 |
| 1－2 能力開発センターでの訓練の「見える化」に向けて | 93 |
| 1－3 評価指標の今後の活用の方向性とモラールアップについて | 113 |
| 1－4 訓練コース評価指標の留意点 | 119 |
| 1－5 教育訓練効果測定の留意点 | 130 |
| 第2節 今後に向けて | 136 |
| 2－1 バランス・スコアカードを意識した評価指標の整理について | 136 |
| 2－2 職業能力開発施設で活用しやすい評価指標の精緻化について | 136 |
| 2－3 評価結果と改善手法について | 137 |